

平成 31 年 1 月 27 日

大学院学生各位
To All Graduate Students

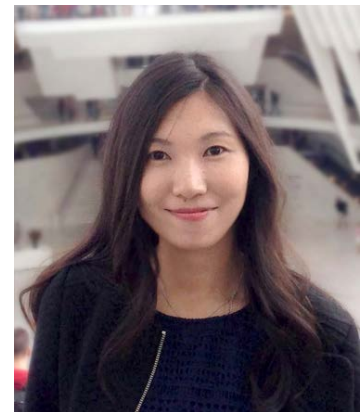
平成 31 年度
基盤医学特論 開講通知
Information on Special Seminar Tokuron 2019

題目:「ドラッグデリバリー技術による臓器選択的治療」
Title: Organ selective treatment by drug delivery system

言語(Language): 日本語(Japanese)

講師: 堀口 道子 先生

(山陽小野田市立山口東京理科大学薬学部
堀口研究室・講師、コロンビア大学医学部がんセン
ター・研究員、横浜市立大学医学部・非常勤講師)



Teaching Staff :Michiko Horiguchi

ドラッグデリバリーシステム (Drug Delivery System, DDS) は、体内での薬物の分布を量的・空間的・時間的に制御するシステムのことである。DDS を用いることで薬物の副作用の軽減や効果の増大が可能となるため、既に多くの DDS 製剤が臨床で使用されている。我々は、DDS を用いた高精度な臓器選択的治療の実現のため、特に標的化の難しい肺や脳への選択的薬物送達技術を確立し、肺胞再生治療薬やうつ病・認知症改善薬の開発を進めている。

肺胞再生治療薬の開発では、世界に先駆けて細胞外マトリックス関連分子であるインテグリンが肺胞再生の責任因子であることを発見し、肺胞への標的化を可能としたインテグリンナノ粒子を作製した。このインテグリンナノ粒子を吸入製剤として肺胞破壊モデルに投与すると肺胞への選択的な移行と肺胞再生効果が確認された。また、うつ病・認知症治療薬の開発においては、うつ様症状や認知機能改善に重要な機能を果たすペプチドに膜透過配列を付加し、脳への選択的移行性を高めた点鼻製剤を作製することに成功した。DDS は様々な病態において、臨床の課題を解決し、薬物治療の効果を高める可能性を秘めている。

日時:平成 31 年 4 月 24 日(水) 18:00~19:30

Time: 18 :00~19:30, April 24(Wed), 2019

場所: 基礎棟 会議室 1 (学務課前)

どなたでもご参加いただけます。事前連絡は不要です。No registration required.

* 関係講座・部門等の連絡担当者:

病態内科学講座 腎臓内科 丸山 彰一 Tel:744-2186 (内線 2186)

Contact: Department of Nephrology (ext. 2186)